

ヘブル暦 第6月 エラル

1. ガド部族の月ーガドが生まれた時、リアは「軍隊が来た（創世記 30:11）」と言いました。それは増加を意味します。創世記 49:19、ヤコブが彼を祝福して、「ガドよ、軍隊があなたを襲うが、最後にあなたは勝利を得る」と語りました。今月は勝利と業績／成功の月。言いましょう！「主よ、今月備えてくださっている勝利と成功を感謝します。」
2. 神の群れの中、または宿営達の中で、自分が居るべき宿営を見出す月ー今月はたいてい年初になります（ヘブル年はこの月に始まります）。多くの人々は自分の場所を見出すために与えられた機会の窓を見逃します。よって、さまよい歩く結果となってしまいます。何らかの不信感が入り、つながることを阻むのです。不信感を適切に処理しないと、神が新しい機会の窓を与えて下さってもつながることができず、最終的にはまったく孤立してしまいます。私たちは他の人々を必要としていて、そのように私たちは造られています。不信感は拒絶の根のサインです。それは、あなたが満ち満ちた所に入るのを邪魔し、他の人から得られる勢いと強さを得られないようにと働きます。これは、自分一人で荒野を通らされるという結果を産み出しかねません。イエスの模範は、私たちに荒野の原則を教えています。試練は証を産み出し、敵と対峙させます。しかし適切につなぎあわされるための警告でもあります。孤立すると、簡単に敵の餌食となってしまいます。
3. 悲劇を通ると、今年は嘆きの年となります。各月に備えられている勝利と祝福の過程を通ってください。
4. 荒野も同様です。時には通らなければならないのですが、それでも各月の祝福を受け取り続けることはできます。
5. 幸運の月ー今までしてきたことの報いが現れ始めます。「報い」を考えて下さい。今まで種をまいてきたものを刈り取ります。重荷を負い続けながら決して報いを見ないのであれば疲弊してしまいます。どうやって豊かになるのか知るべきです。パウロは豊さを知っていました（ピリピ 4:12）。「溢れて豊かになる」と考え始めてください。神に感謝を捧げ始め、彼からの報いを見張りましょう。
6. 王が野にいる月です。王に近寄り、彼の御顔があなたの上に照り輝くようにしましょう。王に近寄る方法を学びましょう。私たちが歩み入るべき神への畏敬の念があり、その時神の栄光が私たちにそそがれます。「あなたの御顔の光を私たちの上に照らしてください（詩篇 4:6）」と祈り始めましょう。
7. ヘブルアルファベットでは「YOD」の月で、「神の御手からくる定められたいつくしみ」を意味します。
8. 堅固なやぐらへと走る月（箴言 18:10）。あなたよりさらに大きな力があなたをとり囲みます。常に強くなくても、神の強さへと入ることができます。
9. 平和の内なる知識が活性化されるべき月。欠けたところがないために再構成する時を常に保持しましょう。
10. 「ポイントの月」ーはじめを理解する月。それにより終わりに到達することができます。
11. 壊れていたものを修復するべき時（修復できると主が語っていないなら、分解して死ぬままにしておいてください）。
12. 複雑なシステムが制御されていく月
13. 母の月、つまり養い育てる月。これはアブ同様、使徒的です。あなたは誰を見守っていますか？また誰に見守られていますか？
14. レベッカがヤコブとエサウを産んだ月ー祝福を産み出していますか？それとも後になって神が悲しくなることをしますか？あなたにとって争うとは何ですか？
15. 左手の月ーアクション、良い感情も悪い感情も含め、アクションを制御する月。自分の感情はよいコンディションであることを確認してください（言い換えれば、あなたのアクションが良い感情からきているかどうか確認してください。）今月誕生日なら、悪化した葛藤や苦しみの中でも対抗して経ち続けることが出来、豊さに到達することができます。でないとカゴは 3/4 で終わってしまいます。あなたは重荷を持ち運べるものです。